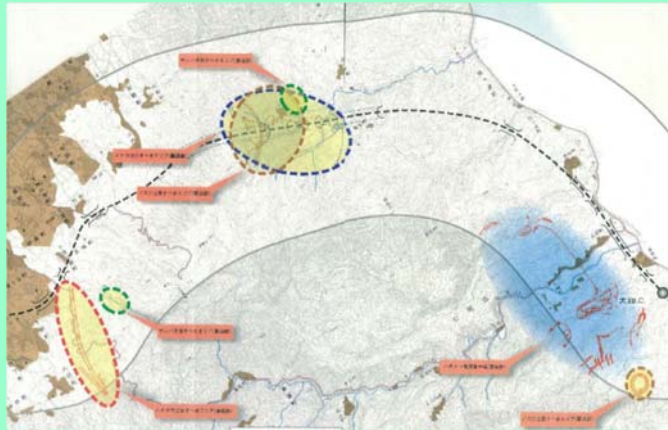


# 環境影響予測・評価を反映した事業計画検討・提案

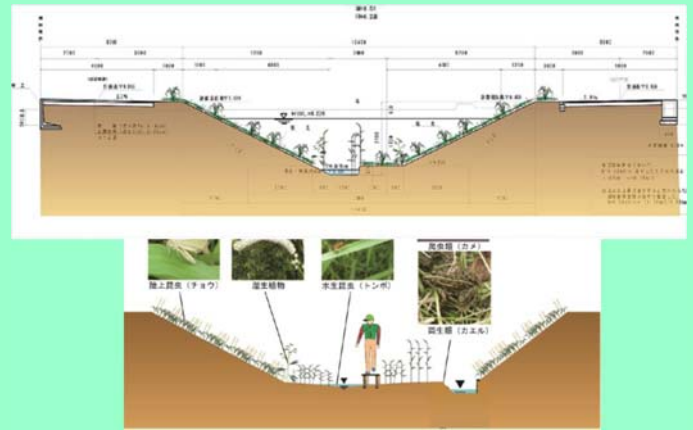
各種環境調査結果から、環境への事業影響の的確な予測・評価を行います。また、これらの検討結果を基に、自然環境に最大限配慮した事業計画について検討・提案、対策を行います。

生物の生息・生育環境に配慮した道路（路線）計画の検討・提案を行います。



●道路事業による希少猛禽類への影響予測・道路計画への提案事例

多様な環境が維持・創出できるように、多自然川づくりの検討・提案を行います。



●小河川の多自然川づくりの検討・計画事例

重要な動植物の移植（移殖）、生息に必要な環境基盤の整備等、自然環境の保全を目指した対策を検討・提案し、実施します。

<p><b>現状</b></p> <p>上流側から土砂が流入し、産卵環境としては不適 平時の流量は少なく、産卵池に水が溜まりにくい</p> <p><b>流水路</b></p> <p>一部で水深が深い場所もあるものの、土砂が堆積し水深が浅い。→サンショウウオの産卵場所として不適</p> <p><b>第2産卵池</b></p> <p>涵水量が少ないと思われ、水深が浅い。また、面積は産卵数に対して圧倒的に狭い→サンショウウオの産卵場所として不適</p> <p><b>堰上げ</b></p> <p>木材を利用した堰上げ、木材の隙間から水がしみ出て流れる。→水量維持のため、しみ出しを防ぐ必要がある。</p>	<p><b>提案</b></p> <p>当面（工事終了である2年後）までの対策 →その後は、下流側へ湿地創出も含めて再検討 流水路を拡大し、土砂流入があっても埋没しないようにする 産卵池を拡大して、幼生の生存率（共食い防止）を高める</p> <p><b>流水路の拡大</b></p> <p>流水路を拡大する。一様に深く浅くするのはではなく、凹凸時の流れを緩和させるために深い場所を作り、矢印の様に流れる様に配慮する。</p> <p><b>土壌による最深部の保護</b></p> <p>最深部に土砂が入り込まない様に土嚢を積む。（池の中に池を作る）</p> <p><b>土嚢による堰上げで水量確保</b></p> <p>現場の木材による堰上げを改良し、土嚢によって、注の水が確保できる様にする。土嚢の上からオーバーフローで排水する。</p> <p><b>土嚢による池縁の保護</b></p> <p>流水路（新・池）に土砂が入り込まない様に土嚢によって、池縁を保護する。</p> <p><b>第2産卵池の改良</b></p> <p>流水路と接続する。元の池の場所は、深く浅く、水位低下が起こった際の「避難場所」にする。</p>
---	---

●サンショウウオの産卵地を補強設計した事例



●重要植物の移植事例



●サンショウウオの卵の一時避難地の造成